

公共施設の再編に関する市民説明会 アンケート結果

(単純集計)

I 調査の概要

1 調査目的

「魚津市公共施設再編方針」策定の参考とするため、平成 26 年 5 月 24 日に開催した公共施設の再編に関する市民説明会への参加者に対して素案に対する意見等を調査するもの。

2 調査対象

市民説明会参加者 58 名

3 回答者数

24 名（回収率：41.4%）

4 調査項目

- ①性別
- ②年代
- ③居住地区
- ④意見等（自由記載）

Ⅱ 調査結果

問1 性別

男	19人
女	5人
無回答	0人
合計	24人

問2 年代

10代	0人
20代	1人
30代	1人
40代	10人
50代	8人
60代	3人
70歳以上	1人
無回答	0人
合計	24人

問3 居住地区

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
大町	3人	上野方	0人	経田	2人
村木	1人	本江	3人	西布施	1人
下中島	0人	片貝	0人	天神	2人
上中島	1人	加積	2人	市外	1人
松倉	1人	道下	6人	無回答	1人
合計					24人

問4 素案に対する意見等（自由記載）

＜本庁舎について＞

- 本庁舎の建替えには、まちづくり等幅広い観点から場所や機能を調査・研究し、現在地にとらわれず計画作りを進めてほしい。
- 市役所の建替場所については、検討の余地がある。

＜小学校について＞

- 小学校の統廃合後、是非、小・中学校にスクールバスを導入してほしい。

＜福祉センター＞

- 福祉センターの利用者のなかで「入浴施設があつてこそ来場できる」という意見がある。方針では、空き施設を利用しての事業実施ということだが、小さくてもいいので入浴施設の設置を検討していただきたい。

＜水族博物館・埋没林博物館＞

- 水族博物館と埋没林博物館を隣接した敷地に集約すべきである。

＜その他＞

- 人口減少傾向のなかにあつて、身の丈にあつた施設数を最優先に考えていくべきである。
- 取り壊す建物はなるべく少なくして、補強や改修を行い、防災物資の備蓄用などに活用を考えるなど、幅広くアイデアを募ってみてはどうか。
- 跡地を売却しても二束三文で売るくらいなら保有すべきである。
- 維持管理費の削減方法が分かりにくい。もっと簡単に市民に分かりやすくしてほしい。
- 公共施設の統廃合は不可避だが、将来に向けた夢やビジョンが全く見えず、暗い気持ちになった。政治・行政は足し算や引き算ではなく、かけ算・割り算で考えるべきである。
- 市には、人口増加について考えてもらいたい。
- 生産年齢人口の年齢のうち、20歳から39歳までの人口の推移を把握するなど、少子高齢化や人口減少についてさらに分析を進めてもらいたい。
- 大変な仕事であるが、後世のためにもがんばって取組んでほしい。民間人として出来ることがあれば協力したい。
- 魚釣りができる場所を設けてほしい。